

色々な流言が放たれてゐるので萬一の警戒に架線工夫を符集めて架線の切斷其他を警戒させてゐた。

是より疑きに檢束を避くる爲め大阪某所に隠れてゐた談笑俱樂部依岡理事其他は此日正午になつて突如北區西野田江成町日本労働總同盟に姿を現し西尾主事等と會見今後の決心を語ると共に應援を依頼する所があつた。茲に於いて日本労働總同盟では緊急幹部會を開き取敢ず幹部に於いて適當の應援を爲す事に決した。

先づ最初の策戦として會社が運轉手の手不足を補ふ爲めに免許證を持たぬ者を運轉手臺に立たせてゐる模様なので之を片ツ端から摘發し襟と云ふので同日正午金正幹事以下二十數名が總同盟から電車賃を買つて各電車に乗込んだ。尙同委員會では『市民に與ふ』『従業員に與ふ』といふ二種のビラを印刷し之を市民及従業員に撒布すると共に廿七日尼ヶ崎西生寺に開かれる阪神電車争議批判演說會には多數の辯士を送ると云ふことを申合せ又西部交通労働組合でも數日中に同様の演說會を開くことにした。

一面會社側では同日午後二時より緊急重役會議を開く事となり片岡相談役を除き他の重役全部出席三崎專務より経過を報告した後會議に移り結局運輸従業員の現初任給九十八錢に三十五錢の増給を行ひ他も之を標準にして増給することに決しこの旨辭令の交附に先立つて即時掲示發表する事になつた。

尙これと同時に他の日給員即ち運輸以外の雇員常夫等に對しても同様の増給を行ひ漸次他の社員に及

ぼすことを決議し午後九時漸く會議を終つた。

之に就いて三崎專務は次の如く言明してゐた。

『今度の増給は全然要求に基いて決したのではなく、それと關係なしに私が先頃から立案してゐたものを急に發表したまでです。』

是れで従業員も満足して呉れると思ひますが尙罷業が繼續するとしても已にその用意は出來て居り更に繼續する場合には各郊外電車や市電から應援を得る手筈も整つてゐますから乗客には永らく御迷惑はかけない積です。尙従業員中の悪性の者に對しては多少の敲首も亦止むを得ませぬが大體に於いて今度の事件については處罰しない心算です』と。

一方重役會議の結果を早くも耳にした罷業従業員は午後十時頃から青木の談笑俱樂部を始め杭瀬尼ヶ崎野田等に集合し『要求は容れられた！戦は捷つた？』と喊聲をあげたが應援中の労働總同盟並に野武士組の一派では西尾主事以下總同盟本部に集り更に第二段の策戦を廻らし罷業團の幹部一同をも呼び集め秘密裡に謀つた結果

要求は貫徹されたが會社側は罷業の首謀者に對して斷然敲首の擧に出る模様である。安心して従業員する事が出來ぬから此際本争議の爲めには一切犠牲者を出さぬと云ふ會社の言質を得る事に決し深更